

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	Level Up English 2	
科目基礎情報							
科目番号	23110			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報機械システム工学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	①TOEIC L &R Test: On Target Book 1 (南雲堂)、必携英単語LEAP(数研出版)② Speak NOW 3(Oxford University Press)						
担当教員	鈴木 聡,Kim Philip,Woods David						
到達目標							
・日常生活や身近な話題に関して易しい英語で書かれた説明文や図表などから、その概要や必要な情報を大体は理解できる。 ・日常生活や身近な話題に関して、英語でゆっくりと明確に話されればその内容を理解することができる。 ・日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、英語である程度まとまりのある文章を書くことができる。 ・日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を英語で説明することができる。 1.To encourage the students to achieve oral and verbal English communication skills to help them in their personal and professional situations. 2.To help students develop self-confidence speaking publicly. 3.To help students to realize speaking and communicating in English will help broaden their personal and career horizon.							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日常生活や身近な話題に関して優しい英語で書かれた説明文や図表などから、その概要や必要な情報を十分に理解できる。			日常生活や身近な話題に関して優しい英語で書かれた説明文や図表などから、その概要や必要な情報を大体は理解できる。		日常生活や身近な話題に関して優しい英語で書かれた説明文や図表などであっても、その概要や必要な情報を全く理解できない。	
評価項目2	日常生活や身近な話題に関して、英語でゆっくりと明確に話されればその内容を正確に理解することができる。			日常生活や身近な話題に関して、英語でゆっくりと明確に話されればその内容を理解することができる。		日常生活や身近な話題に関して、英語でゆっくりと明確に話されてもその内容を全く理解することができない。	
評価項目3	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、文法的に正しい英語でまとまりのある文章を書くことができる。			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、英語である程度まとまりのある文章を書くことができる。		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理したり、英語でまとまりのある文章を書くことが全くできない。	
評価項目4	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を英語で十分に説明することができる。			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を英語で説明することができる。		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を英語で説明することが全くできない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	Level up English 2は講読3時間と英会話1時間から成る、週4時間、2単位の半期授業である。講読は鈴木が担当し、英会話は1クラスを2つに分け、キムとウッズが担当する。以下、講読は①・③、英会話は②として表記する。						
授業の進め方・方法	講読の授業はTOEIC L &R Test: On Target Book 1 (南雲堂)使用し、本文を訳読後、各課の課題を解くことを基本とする。必携英単語LEAP(数研出版)による単語テスト等を行い、指定の範囲内の課題提出も継続的に課す。英和辞典は必携。 The conversation class uses Speak NOW 3 and focuses on communication activity in English. The main purpose is for students to build and attain the ability to speak English. Participation of each student is expected in the class and will be evaluated according to their participation. Emphasis on review and practice of what the students have learned can't be stressed enough. Practice is a must.						
注意点	中間、期末試験は講読75点、英会話25点の計100点満点の試験を実施する。 成績算出については、定期テストが60%、ポートフォリオを30点（購読20点、英会話10点）、態度（購読5点、英会話5点）とする。なお、講読のポートフォリオには小テストと提出物、英語のアプリの学習状況が含まれ、一つでもかけた場合は0点になるので注意すること。また、態度にはGTECの出席点も含まれる。 ②The practice of English pronunciation, listening, and speaking daily is a must in order to excel in learning a foreign language.						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	① Lesson1 Going Overseas ② Introduction of the class		① 文型 infinitives/How about/Why don't/should /suggestions ② Detailed introduction of the rules and requirements of the class and what is expected of everyone for the term.		
		2週	①Lesson 2 Goin Shopping ② Unit 09: Do you know...?		①疑問詞の種類 ② Asking indirect questions.		
		3週	① Lesson 3 Food and Health ②Unit 10: Sorry. My mistake.		① 形容詞と副詞 ② Pointing out mistakes politely and apologizing for mistakes.		
		4週	① Lesson 4 Sports and Games ② ②Unit 11: Can I please...?		① 間違いやすい前置詞 ② Making appointments and confirming information.		
		5週	① Lesson 5 Directions and Transportation ② Unit 12: I'm broke.		①助動詞 ② Making and acknowledging recommendations.		

		6週	① Lesson 6 Review Test 1 (Units 1-5) ② Listening Quiz 1 + midterm review (kim)	① (Unit1～5までの復習) ② Review for listening and dictation midterm exam. Students will have had at least one month to prepare and practice the list of vocabularies which are very difficult to distinguish; i.e. words that begin with TH and S, B and V, L and R, etc./
		7週	中間試験	
		8週	① 試験返却、解説 海事プリント ② Announce test results	① 誤答を訂正できる。 ② Go over the test scores and review the answers and cover the next lesson.
	4thQ	9週	① Lesson 7 Sales Campaign ② Unit 13: I used to play hopscotch.	① 使役動詞と知覚動詞 ② Asking and reminiscing about childhood.
		10週	① Lesson 8 Employment ② Unit 14: She said she was sorry	① 関係詞 ② Reporting what someone said.
		11週	① Lesson 9 Communications ② Unit 15: I read and unusual story.	① 時制 ② Talking about news and adding information
		12週	① Lesson 10 Ecology ② Unit 16: When did they release it?	① 条件文/仮定法 ② Describe good/bad points about a neighborhood and learn to use the second conditional.
		13週	① Lesson 11 Troubleshooting ② Listening Quiz 2 Review (kim) ③ Unit12: Sales	① ～INGにつく動詞・toにつく動詞② Asking and stating when things happened
		14週	① Review Tests 2(Units 6-10) ② Listening Quiz 2 + final review (kim) ③ Unit13: Ordering	① (Unit 6～10までの復習) ② Listening Quiz 2 and review for the final exam.
		15週	期末試験	
		16週	① 試験返却、解説 ② Announce test results ③ Unit13: Ordering	① 誤答を訂正できる。 ② Go over the test scores and review the answers.

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	ポートフォリオ	態度				合計
総合評価割合	60	30	10	0	0	0	100
基礎的能力	60	30	10	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0